

モノポリー競技ルール

このルールについて

このルールは、モノポリー日本選手権大会などにおいてモノポリーを「競技」として行うために日本モノポリー協会が作成したものです。そのため市販のセットに含まれるルールブックの内容とは異なる場合があります。

ゲームの目的

このゲームの目的は、

『巧みな交渉と機転の効いた判断と少々の運を駆使して、資産を増やし、他のプレイヤーをすべて破産に追い込むこと、また、自分が他のプレイヤーより先に破産しないよう努めること』です。

ゲームの勝敗及び順位

他のプレイヤーがすべて破産し、最後に生き残ったプレイヤーが勝者です。(この状態で勝利することを「モノポリー勝ち」といいます。)

時間の制限を設ける場合、ゲーム終了時点で、最も総資産*が多いプレイヤーを1位とし、総資産が多い順に順位をつけます。総資産が同じプレイヤーがいる場合には、同順位とします(特に順位に差をつける必要がある場合には、ゲーム終了後に互いにダイスを振り、大きい順に上位とします)。

破産したプレイヤーは、早く破産したプレイヤーほど順位が低くなります。各プレイヤーは少しでも順位が上がるように努力しなければなりません。

* 総資産

プレイヤーの資産の評価額のことで、「手持ち現金」と「所有する権利書の額面価格(抵当入りの権利書は抵当価格)」と「所有する建物の権利書に書かれている建設価格」の合計金額のこと。

ゲームの参加人数

ゲームに参加するプレイヤーの数は、大会ごとに定めます。

また、プレイヤーとは別にバンカー(銀行の業務をする人)を置きますが、通常はプレイヤーのいずれかがバンカーを兼ねます。

ゲーム時間

大会ごとに定めます。時間無制限とすることもできます。

プレーの準備

ゲームを始める前に、以下の準備を行います。

銀行に十分なお金を用意します。

各プレイヤーは、銀行から\$1500(\$500x2, \$100x2, \$50x2, \$20x6, \$10x5, \$5x5, \$1x5)ずつ受取ります。

また、スタートの順番を決めるためにダイスを二つ振り、ダイスの目の大きいプレイヤーからスタートすることとし、その順に時計周りになるよう場所を決めます。また、スタートの順に駒を選んでスタートのマスに置きます。

チャンスカード・共同基金カードの枚数(各16枚)と内容を確認し、最後にスタートするプレイヤーがチャンスカードを、その一つ前にスタートするプレイヤーが共同基金カードをシャッフルし、所定の場所に置きます。専任バンカーを置く場合は、バンカーがカードをシャッフルします。

プレーの手順

自分の手番のプレイヤーは、ダイスを二つ同時に振りその目の合計数だけ駒を進めます。その際、G0を通過するかG0に止まったとき

サラリー\$200の受取

未購入の土地・鉄道・電力会社・水道会社に止まったとき

権利書の購入、権利書購入拒否による競売

チャンス・共同基金に止まったとき

カードの指示による駒の移動・支払・受取

購入済みの土地・鉄道・電力会社・水道会社に止まったとき

レンタル料の支払

税金に止まったとき

税金の支払

GOTO JAILに止まったとき

刑務所へ行く

の処理を行い、それを終えたときそのプレイヤーの手番が終わります。

また、ダイスの目がゾロ目であったときは、以上の行為を終えても手番は継続し、もう一度ダイスを振って駒を進めます。3回目のゾロ目は駒を進めずに、駒を直接刑務所に入れ、手番を終えます。ゾロ目であっても「GOTO JAIL」に止まったときもしくは「刑務所に行く」のカードを引いたときには、駒を刑務所の中に移動し、手番を終えます。

次のプレイヤーの手番が始まるまでの間に、各プレイヤーは、「交渉」「家・ホテルの建設/売却」「抵当」を行うことができます。原則的には、手番中には「交渉」「家・ホテルの建設/売却」「抵当」を行うことはできませんが、特に許されたタイミング(後に詳しい記述がありますが、手持ち現金で支払いができない負債*が発生したときには負債者は交渉できる、など)では手番中でもこれらの行為が許されることがあります。

次の手番のプレイヤーは、誰も新たに「交渉」「家・ホテルの建設/売却」「抵当」の処理を行わないことを確認し、自分の手番を開始します。

* 負債

負債とは、「レンタル料の支払」「所得税・物品税の支払」「カードの指示による支払」「刑務所の釈放料の支払」「破産させたプレイヤーから受け取った抵当に入っている権利書による税金の支払」のいずれかを指します。

権利書の購入

未購入の土地・鉄道・電力会社・水道会社に止まったプレイヤーは、その土地の権利書を額面価格で購入することができます。抵当価格(額面価格の半額)で権利書を抵当入りの状態で購入することはできません。未購入の土地に止まったプレイヤーが額面価格での購入の権利を放棄した場合には、権利放棄したプレイヤーも含めて競売を行います。

チャンスカード・共同基金カード

チャンス・共同基金に止まったプレイヤーは、カードパイルの一番上のカードを一枚引き、そのカードを他のプレイヤーおよびバンカーに示して、そのカードに書かれた指示に従います。使用したカードは順次、カードパイルの最も下に入れ、シャッフルはしません。

レンタル料の支払

他人の所有する抵当に入っていない土地・鉄道・電力会社・水道会社に止まったプレーヤーは、権利書に記載されたレンタル料をその土地の所有者に支払わなければなりません。また、レンタル料の免除をすることはできません。そのカラークラウドの権利書が一人のプレーヤーによって独占されている場合には、通常の2倍のレンタル料、家・ホテルが建設されている場合にはそれぞれの軒数に応じて権利書に記載されている額のレンタル料になります。カラークラウドの権利書が独占されている場合、そのカラークラウドの他の土地の権利書が抵当に入っている場合、駒が止まった土地の権利書が抵当に入っていない場合、独占されているものとして通常の2倍のレンタル料となります（鉄道、電力・水道会社についても同様です）。

交渉

各プレーヤーは、任意のプレーヤーの手番の終了後から次のプレーヤーの手番が始まるまでの間（以降、「各人の手番と手番の間」とします）に、または手持ち現金で支払えない負債を負った場合、刑務所釈放カードを持っていない際に刑務所釈放料の負債を負った場合に、交渉を行うことができます。「刑務所釈放カードを持っていない際に刑務所釈放料の負債を負った場合」を根拠に手番中に交渉を行う場合には、刑務所釈放カードの取得を含む交渉のみが許されます。

交渉は、「権利書」「刑務所釈放カード」と現金をからめた交渉のみを行うことが許され、「未来についての約束」や「家・ホテル」を交渉の材料にすることはできません。また、手持ち現金で支払えない負債を負った負債者が債権者と交渉する場合には、債権者は債権を現金と同様に交渉の材料にすることができます。交渉は、原則として1対1で行います。三角交渉などはできません。ただし、交渉中のプレーヤーに対して交渉を持ち掛けたい場合には、その意思表示のみは行って構いません。その場合、交渉の内容に立ち入って意思表示を行うことはできません。交渉がまとまった場合、交渉の当事者は、バンカー及び他のプレーヤーにその取引の内容を明らかにした上で、「権利書」「刑務所釈放カード」「現金」のやりとりを行います。

家・ホテルの総数

家32軒、ホテル12軒とします。

家・ホテルの建設

カラークラウドの権利書を独占したプレーヤーは、各人の手番と手番の間に家の建設希望軒数を指定して家の建設を宣言することができます。また、カラークラウドのすべての土地に家を4軒ずつ所有するプレーヤーは、ホテルの建設希望軒数を指定してホテル建設を宣言することができます。ただし、カラークラウドを独占していてもそのカラークラウドで抵当入りしている権利書がある場合には、家の建設宣言を行う前にそのカラークラウドのすべての権利書を抵当から出す必要があります。この場合の抵当の処理は、建設宣言に優先して行うことができます。他に家・ホテルを建設希望するプレーヤーがいないとき、またはすべてのプレーヤーの家・ホテルの建設希望数の合計が銀行にある家・ホテルの数以内のときは、そのまま家・ホテルの建設が成立します。家・ホテルの建設が成立したときには、家・ホテルを建設するプレーヤーは、家・ホテルを建設する土地を指定し、その土地の権利書に記載された建設費を銀行に支払い、銀行から家・ホテルを受け取り、土地のマスに置きます。この際、建設費が支払えない場合は、家・ホテルの建設宣言は取り消されます。ホテルを建設した際には、その土地に置かれていた家4軒は銀行に返します。

家・ホテルの建設希望数の合計が銀行にある家・ホテルの数を越

える場合には、「家・ホテルの競売の始まりまで」に記載されたとおりに処理を行います。

家・ホテルの建設は、交渉に優先して行うことができます。ホテルの建設は家の建設に優先します。

家は、同一カラークラウド内の土地に対してできる限り均等にしなければならず、家の数の差が2以上になるようにしてはいけません。

競売の方法

競売は、バンカーが進行します。競売価格は\$10以上\$10単位で行います。落札価格が権利書の抵当価格以下でも構いません。家・ホテルの競売の場合は、自分が建設できるカラークラウドのうち、最も安い建設費以上の値段のみでコールでき、自分が建設したいカラークラウドの建設費以上で落札しなくてはなりません。最高値を付けたプレーヤーはその価格で購入しなければなりません。ただし、落札したプレーヤーがその価格で購入できないことが明らかになった場合には、そのプレーヤーを除いて再度競売をやり直します。

競売中に交渉を行うことはできませんが、購入のために権利書を抵当に入れたり、家やホテルの売却を行うことは可能です。

同時に同額のコールが会った場合は、次の手番のプレーヤーから右周りに近いプレーヤーのコールを優先します。

家・ホテルの競売の始まりまで

複数のプレーヤーが家・ホテルの購入を希望し、その建設希望数の合計が残数を上回っており、プレーヤー間で折り合いが付けられない場合は、競売を行います。

競売になることを承知の上で（それ以前に他のプレーヤーが宣言した建設希望数と自分の建設希望数の合計が残数を超える場合を指します）、家の建設希望数1軒以上をコールしたプレーヤーはその数を減らす、または取消することはできません。ただし、そのプレーヤーより後に家の建設希望数をコールしたプレーヤーがいる場合には、家の建設希望数を減らす、または取消することができます。一人以上のプレーヤーが家の建設希望数を減らし、全員の建設希望数の合計が残数以内に収まった場合には、各プレーヤーの建設希望数ずつ権利書にかかれた建設費にて建設します。（つまり、最後に家の建設希望数をコールしたプレーヤーは、家の建設希望数を減らしたり取消したりすることはできず、他のプレーヤーが建設希望数を減らして残数以内に収まった場合は、建設希望軒数だけ定価で建設することになります）。

家・ホテルの競売

家とホテルの競売が同時に発生する場合には、まず家が4軒ずつ建設されたカラークラウドにホテルを建設するプレーヤーのみを対象にホテルの競売を行い、次いで家の競売を行います。

家・ホテルの競売には、事前に家の建設希望数をコールしていないプレーヤーは参加できません。

家・ホテルの競売は、1軒ごとに行い、最高値を付けたプレーヤーは、家・ホテルを建設する土地を指定し、その価格で家を建設します（落札価格+通常の建設価格ではありません）。このとき、コールする価格が、そのプレーヤーが建設可能な最も安い建設費未満になってはいけません。また、競売落札価格が、家・ホテルを建設する土地の権利書に書かれた建設費未満となっても構いません。落札価格が権利書に書かれた建設費未満となった場合は、自分で落札価格を上げ、権利書に書かれた建設費を支払います。家・ホテルの競売が行われた場合、1軒の競売が終了するごとにバンカーはあらためて各プレーヤーに建設宣言の有無および建設希望数を確認し、上記を繰り返します。各プレーヤーの建設希望数の折り合いが付いた場合には、直ちに定価にて建設を行います。

家・ホテルの売却

各プレイヤーは、各人の手番と手番の間に、または負債を負うか、交渉による現金の支払・抵当による現金の支払い・権利書や家・ホテルの購入、で現金を必要とする場合に、家・ホテルを権利書に記載された建設価格の半額で銀行に売却することができます。家・ホテルの売却は家・ホテルの建設、競売に優先します。ホテルの売却は、家の建っていない状態にまで売却をする場合（ただしホテルのあるカラグループに家4軒が建っている土地がある場合には、そのカラグループにある家の軒数まで売却することを指します）を除き、そのプレイヤーが手持ち現金で支払えない負債を負ったときのみ可能とします。共同基金カードの「各人から\$50ずつ受け取る」で複数のプレイヤーが同時に家・ホテルを売却する必要が生じた場合には、共同基金カードを引いたプレイヤーから見て右周りに近いプレイヤーから順に処理します。

抵当

各プレイヤーは、各人の手番と手番の間に、または負債を負うか交渉による現金の支払・抵当による現金の支払・権利書や家/ホテルの購入、で現金を必要とする場合に、手持ちの権利書を裏返すことで抵当に入れ、抵当価格（額面金額の半額）を銀行から受け取ることができます。そのカラグループの土地のいずれかに家・ホテルが建っている場合には、権利書を抵当に入れることはできません。権利書が抵当に入った土地に他のプレイヤーが止っても、レンタル料を受け取ることはできません。各プレイヤーは、各人の手番と手番の間に、抵当価格と抵当価格の10%（端数が出る場合には切り上げます）を銀行に支払うことで、抵当に入った権利書を抵当から出すことができます。「交渉」「破産」により抵当に入っている権利書の所有者が代わった場合には、新しい所有者は、速やかに権利書の抵当価格の10%を銀行に支払わなければなりません。このとき同時に抵当価格を支払えば、抵当から出すことができます。

刑務所

刑務所に入っているプレイヤーは、自分の手番でダイスを振る前に\$50払って（もしくは刑務所釈放カードを使って）刑務所を出るかどうかを宣言しなくてはなりません。宣言無しにダイスが振られた場合には、出所の意思はないものとみなします。\$50払うか刑務所釈放カードを使って刑務所から出た場合には、通常の手番と同様にダイスの目により駒を進めます。ダイスの目がゾロ目であれば、通常と同様に手番は継続し、もう一度ダイスを振ります。「刑務所から出ない」ことを宣言した場合には、ダイスの目がゾロ目であった場合のみ、目の数だけ駒を進めます。この場合は刑務所釈放料は支払わず、またゾロ目であっても二度目のダイスを振らずに手番を終えます。ダイスの目がゾロ目でなければ、そのまま刑務所にとどまり手番を終えます。ただし、刑務所から3回続けてゾロ目が出なかった場合には、刑務所釈放カードあるいは釈放料\$50を支払い、その目で出所しなければなりません。このとき、まず刑務所釈放料\$50あるいは刑務所釈放カードの負債が発生し、その支払いを完了した後、駒をダイスの目だけ進めます。また、通常のダイスの目で刑務所のマスに止った場合は、「Just Visiting」の場所に駒を置き、刑務所の中とは区別します。

電力・水道会社

チャンスカードの「次の電力・水道会社に進む」で止まった場合には、再度ダイスを振り、出た目の10倍のレンタル料を支払います。通常のダイスの目で、電力・水道会社に止まったときには、

その時のダイスの目の4倍（電力・水道会社の所有者が同じ場合には10倍）のレンタル料を支払います。

所得税

所得税に止まったプレイヤーは一律\$200を銀行に支払います。

破産

負債を負い、交渉などによっても破産を免れないプレイヤーは、手持ち現金、権利書、刑務所釈放カードを、「交渉」「抵当」などを新たに行わずそのまま債権者に渡し、ゲームから外れます。負債を負ったプレイヤーがその負債を支払うために交渉を行い、結果的にその負債を支払うことができなかった場合、その負債を支払うために行った交渉は無効とします。

交渉を行わなければ負債を支払うことができない状態（以後、「仮破産状態」とします）のプレイヤーに対し、債権者以外から破産を免れる条件の交渉が提示された場合、仮破産状態のプレイヤーは、破産を免れる条件のいずれかの交渉を成立させ、破産を免れなければなりません（自ら破産を選択してはいけません）。仮破産状態のプレイヤーに対し、第三者から破産を免れる条件の交渉が提示されない場合、債権者は仮破産状態のプレイヤーに対して交渉することができません。

仮破産状態のプレイヤーは、債権者以外の複数のプレイヤーと並行して交渉することができます。

銀行に対する支払で破産した場合（銀行破産）には、破産者が所有していた刑務所釈放カードはカードパイルの最も下に入れ、権利書は、GOから右周りの順序で一枚ずつ抵当に入っていない状態で競売を行います。ただし、銀行破産により残りのプレイヤーが1名となるときには、交渉・競売は行わず、ゲーム終了となります。チャンスカードの「各人に\$50ずつ支払う」で破産したときは、銀行破産とし、どのプレイヤーにも支払を行わずに、銀行破産と同様の処理を行います。共同基金カードの「各人から\$50ずつ受け取る」で同時に破産者が出た場合には、その時点で総資産が多かったプレイヤーを上順位とします。

ゲーム終了

一人のプレイヤーを除いて、他のプレイヤーがすべて破産したとき（モノポリー勝ち）は、破産に関する処理を行った後、ゲーム終了となります。このとき、最後の破産者が銀行破産だった場合は、銀行破産に伴う権利書の競売は行わず、ゲームを終了します。また、モノポリー勝ちの状態になっていない場合でも、定められたゲーム時間が経過したときには、ゲーム終了の合図を行います。ゲーム終了の合図があったときには、次にダイスを振る手番のプレイヤーがダイスを振り、その手番が終了後にゲーム終了となります。ただし、ゲーム終了の合図後にダイスが止まったときには、そのプレイヤーの手番が終了後にゲーム終了となります。ゾロ目のときにゲーム終了の合図があったときには、そのプレイヤーの手番終了までダイスを振り、ゲーム終了となります。ゲーム終了の合図後、「交渉」「家・ホテルの建設」を行うことはできません。未完了の「交渉」「競売」などは取りやめます。ゲーム終了後、各プレイヤーは総資産などをそれぞれ計算し、バンカーも加えて互いに順位などを確認します。

その他

各プレイヤー間で現金・権利書・刑務所釈放カードの貸し借り・贈与を行うことはできません。また、刑務所釈放カードを\$50以上の値段で他のプレイヤーに売ることはできません。

特に審判が必要と認めた場合以外は、ゲーム中のメモ・電卓などの使用を禁止します。

ルール上・ゲーム進行上でその他の問題が生じた場合には、審判

委員の判断に従ってください。

プレイヤーがゲームの進行に支障をきたすとみなされる行為をした場合には、審判は当該プレイヤーに対して失格を宣言することができます。失格したプレイヤーは、その時点で銀行破産したものと扱われます。

特別ルール

大会ごとの規定により、モノポリーの基本的なゲーム性を損なわない範囲で、特別ルールを定めることができます。この場合、事前にまたはゲーム開始前に、大会参加者に告知するものとします。

これ以降は補足です

ダイス

ダイスを振るときは、二つのダイスを同時に、ボードの上に振ります。ダイスのうち一つでも、ボードから出て止った場合および、ダイスが駒の上に乗るなどして目の判定ができない場合には、ダイスを二つとも振り直してください。

現金など

現金は、テーブルの上に置くか、テーブルより上の位置で手に持ってください。所有している権利書や刑務所釈放カードは、テーブルの上に置いてください。プレイヤー同士で現金・権利書・刑務所釈放カードの貸し借りをしたり、譲渡することはできません。

他人の駒を間違えて進めてしまったとき

駒の間違いに気付いた場合には、速やかに間違いが起きる前までに復帰させ、正しい駒を進めてください。正常な状態に復帰できなかった場合や何か問題が生じた場合には、審判委員の判断に従ってください。

マナー

競技といえども、ゲームは楽しくプレーすることが基本です。これにもとる態度、発言、行為などは、厳につつしみましょう。また、気持ちよくゲームを進めるために、各プレイヤーは以下のような点に十分注意を払ってください。

最後まで最善を尽くす

不利な展開になってしまったからといって、投げやりになってしまったり、自分の順位のみならず、他のプレイヤーが不当に有利/不利になってしまったりして、ゲームをだいなしにしてしまいます。

スピーディーな進行を心がける

便宜上、ゲーム時間を限ることが多いですが、交渉が長引いたりして勝負所をむかえる前にゲーム時間が終了してしまうケースが散見されます。このようなことを避けるために、各プレイヤーがスピーディーな進行を心がけることが肝要です。例えば、以下のようなことを心がけるとよいでしょう。

- 交渉は条件を具体的に提示するよう努める
相手の腹を探るばかりでどちらからも具体的な条件が出てこないような交渉は、他のプレイヤーを待たせるばかりで時間を浪費することになりがちです。
- 同じ交渉を何度も繰り返さないよう努める
一度断られた交渉を何度も繰り返すようなケースをよく見かけます。もちろん、これらのすべてが無駄な交渉というわけではないでしょうが、交渉を持ち掛ける方も持ち掛けられる方も無駄な時間を浪費しないよう努めましょう。例えば相手の提案を断る際に「自分の条件を提示し、相手の条件と離れていることを示す」「断る理由を述べる」「はっきり断る」などしてお

けば、まとまらない交渉に時間を費やさずにすむでしょう。

- 無駄な両替は避ける
少額紙幣をなくしてしまいたい一心で??とにかく少額紙幣で払う」ようなプレーを見かけることがあります。これは結果的に後々両替が必要になったり、相手に少額紙幣がたまって両替が必要になったりと、進行上あまりいいことはありません。「やり取りする紙幣の枚数を少なくする」よう支払うことが(例えば、\$4の支払いなら\$5払って\$1おつりをもらう、\$18なら\$20払って\$2おつりをもらう、\$100紙幣で支払えるのに\$500紙幣で払っておつりをもらおうとしない、など)、特定の紙幣の偏りを無くしスピーディーでお互いに気持ちのよいプレーにつながります。
- ダイスを振るときにのろのろしない
ダイスを振る前に、「1・2・3・4・5・6・7、7ならセーフか...。ん、10でもいいのか...」などと言って、なかなかダイスを振らないケースをよく見かけませんか。気持ちはわかりますが、ピンチの度にこんなことをしては時間稼ぎも同様です。潔く(笑)さっさとダイスを振りましょう。